

## 2010 年度活断層学会論文賞

授賞者： 吉永佑一・原口 強・遠田晋次・横田修一郎

対象論文： 火山帯周辺に見られる隆起帯および火山性活断層の形成過程 —鹿児島県新島を例として—, 活断層研究, 31, 1-18.

授賞理由：

本研究は、桜島火山の北東に位置する周囲 1.5 km ほどの小島を対象として、航空レーザー測量データ・周辺海底地形データの分析、現地地質調査と高度測量調査、反射法地震探査を行い、既存の重力探査結果や深層ボーリング調査結果も併せて、この島の形成過程を考察したものである。オーソドックスな地形・地質調査に加え、最新の測量技術や物理探査、数値解析といった多様な分野の様々な手法を駆使して、火山性活断層のテクトニクスの総合的解明に迫ったものであり、分野の壁を越えた連携による総合的な研究の推進を目的とした本学会の方向性と合致している。さらに、研究対象地域を絞ったことにより研究プロセスの多くを著者ら自身の手で遂行し、大規模化・分業化の傾向が強い近年の研究プロジェクトとは一線を画すこととなった。今後に残された課題も多いが、良く準備された図、現地の地形や雰囲気伝えてくれる写真とあいまって変動地形研究・フィールドサイエンスの醍醐味とテクトニクス解明の面白さを味わわせてくれる好論文である。